

- (4) 下の絵は、1853年にペリー率いるアメリカの軍艦（黒船）が、江戸湾にあらわれたときのようすを、明治になってから想像してえがいた作品です。ペリーの来航は、江戸の町に住む人びとの日常生活を一変させました。この絵を見てわかることがらを述べた文として誤っているものを、あとのア～エのうちから一つ選びなさい。



- ア. ペリーはアメリカ大統領からの手紙を持ってきていたことがわかる。  
イ. 黒船は日本の船と比べると、とても大きいことがわかる。  
ウ. 人びとが大砲や米俵を運んでいることから、幕府は戦う準備をしていることがわかる。  
エ. 黒船は蒸気船であったが、その煙突からは煙が出ていることがわかる。
- (5) 明治時代になり、形式上は身分制が廃止されてからも、日常生活で差別に苦しんでいる人びとは数多くいました。そんな人びとが、今から約100年前に団結して結成した組織の名前を答えなさい。
- (6) 大正時代におこった第一次世界大戦は、日本に好景気をもたらしましたが、戦後しばらくすると一転して不景気となり、日本国民の日常生活に大きな影響をあたえました。この時期に国際社会の平和と安全を守るためつくられたのが国際連盟ですが、この組織において事務局次長を務めた人物を次のア～エのうちから一つ選びなさい。  
ア. 陸奥宗光      イ. 小村寿太郎      ウ. 杉原千畝      エ. 新渡戸稲造
- (7) 太平洋戦争の空襲で焼け野原になった都市では、住む家や衣服などの日用品が不足し、人びとが戦争以前のような日常生活を取りもどすまでには、多くの苦勞がありました。その頃の人びとのようすについて述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。  
ア. 焼け野原となった都市には仕事がないため、人びとは満員電車に乗って農村へと出かけねばならなかった。  
イ. 国から配られる物資では足りないため、都市の人びとのなかには やみ市で食料などをかう人もいた。  
ウ. 空襲により校舎が焼けてしまい、子どもたちの多くは都市にもどらず疎開先で勉強を続けることになった。  
エ. GHQの援助により、孤児となった子どものほとんどが飢えることなく生活できた。
- (8) 太平洋戦争後の日本の国民生活について述べた次の文ア～ウを、古いものから順に並べなさい。  
ア. 日本の人口が減少に転じ、少子高齢化がすすんだ。  
イ. カラーテレビやクーラー、自動車の家庭への普及率が50%をこえた。  
ウ. 東京と大阪の間に東海道新幹線が開通した。